**症例報告**

タイトル（30文字程度で簡潔に）

例）主訴や病名を記載、イベントやトピックを記載　～の80代女性

お名前１）、指導的立場の方２）

1. 所属（難しければ無しでOK）
2. 指導医の先生、看護部の課長、部長など

**要旨**

400-600文字で記載してください。

**確定診断名**

#1 主病名

#2 副病名1

#3 副病名2

**症例紹介**

症例：〇〇代女性

主訴：

既往歴：過去の病気（発症年齢）

併存症：現在進行形の病気（発症年齢）

社会生活歴：

内服薬：一般名、薬剤名利益相反がなければどちらでも可、容量は記載してください。

家族歴：

食事歴；最終食事など特記あれば記載

現病歴：症状出現から入院時まで

入院時現症：身長、体重

バイタルサイン

身体所見　身体所見は、頭側足測、所見のあり無しは、陽性、陰性で記載

血液検査所見：

画像検査所見：

生理検査所見：

**プロブレムリスト**

#1 病名ではなく表現型で記載してください（例　ショック、低酸素血症、食欲不振など）

**入院後経過と考察**

＃1

S情報、O情報から〇〇とアセスメントした根拠を文献を用いて示してください。またその結果、どうなったのか、なぜよかったのか、悪かったのか、どうすべきだったかを文献を用いて振り返りをお願いします（個人の反省ではなく、症例に対する振り返りを科学的にお願いします。）。

問題点は基本的に3つ程度、ボリュームが多ければ一つで結構です。

**総合考察**

　反省や今後の方針となります。ガイドラインや文献を用いて振り返りをお願いします。

**引用文献**

１)引用した文献のみをバンクーバー方式で記載してください。

図、グラフ（何点でも可）含め、ボリュームは、全体で　A4 3枚までで収めてください。

内科専門医の症例報告を参考にしています。一度ご覧ください。

https://www.naika.or.jp/wp-content/uploads/J-OSLER/Tebiki\_ByorekiHyoka.pdf